

<b>(公財)京都市生涯学習振興財団</b>	<b>平成27年度経営計画 兼 経営努力結果</b>
------------------------	--------------------------------

**基本事項**

<b>所管局課</b>	教育委員会生涯学習部施設運営担当	<b>本市出えん金</b>	80,000 千円
<b>基本財産/資本金</b>	80,000 千円	<b>本市出えん率</b>	100.0 %

**「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」**

<b>方向性</b>	存続	<b>目標年度</b>	—
------------	----	-------------	---

**「今後の方向性」に向けた基本的方針**

<b>業務面</b>	生涯学習総合センターにおいては、京都の各界各層の叡智を結集し、「最高水準の生涯学習」を創造し続けていくとともに、図書館では、多様な市民ニーズに応えつつ、必要な情報を的確に発信し、豊かな市民生活の実現と京都市の文化力の向上に取り組んでいく。
<b>財務面</b>	正規職員の少数精鋭化を進め、専門性の高い正規職員を中心に司書資格のある嘱託職員、経験豊富な退職再採用職員を活用し、高い専門性を維持しながら人件費を削減し、一層効率性を高めていく。
<b>組織面</b>	より質の高い生涯学習事業推進のため、学術会議的な色彩を合わせ持つ役員会等の更なる活性化を図るとともに、業務の精選・一元化を推進し、より一層機能的・効率的組織に改編する。 また、派遣職員の計画的な縮減を進めていく。
<b>その他</b>	生涯学習総合センター及び図書館の管理・運営については、直営を基本としつつ、財団による「生涯学習事業及び図書館事業」の実施により、これまで公共性と専門性の高い取組を実現するとともに、効率性という点でも大きな成果を上げてきている。今後もより良い運営及び事業実施を目指し、指定管理者制度の活用も視野に入れつつ、検討を進めていく。

**当年度の取組目標に対する意見**

<b>所管局</b>	市民ニーズを踏まえながら、京都の各界の叡智を結集した財団ならではの高水準の生涯学習事業や司書資格を持つ専門性の高い職員による図書館事業をはじめ、京都市の外郭団体として、関係機関や学校等と連携した公共性の高い取組も積極的に計画されている。さらに、組織改革による業務の精選・一元化も計画されるなど、効果的かつ効率的な業務遂行が期待できる。
------------	---

**当年度の取組に対する総括(※)**

<b>団体(※)</b>	生涯学習総合センターでは、ニーズを踏まえた質の高い事業を継続して実施。10周年を迎えるにあたり、平安京創生館の展示見直しを行うとともに、授業での活用実践プログラム例を作成するなど、学校との連携を推進した。図書館事業では、学校図書館支援を重点的に進めるとともに、ブックリサイクルの開始など、最も身近な生涯学習施設として、認知される取組を推進した。組織面では派遣職員の削減を進めつつ、会議等の見直し等を行い、より効果的な業務遂行を図る体制を整えた。
<b>所管局(※)</b>	効率的な事業実施や派遣職員の削減などを計画的に行うとともに、平安京創生館の展示の見直しのほか、図書館での学校図書館支援の推進やブックリサイクルの開始など、事業の充実を図ることにより、事業参加者数や来館者数の目標値を達成するなど、顕著な成果を上げている。
<b>外郭団体総合調整会議(※)</b>	引き続き市民ニーズを踏まえた事業内容の充実にも努めるとともに、施設の効率的な管理運営方法についても検討する必要がある。また、収益の確保や経費の削減に努め、安定した財務運営が必要である。

## (1)業務に関する取組

## 目標1「より質の高い生涯学習事業の推進」

中期経営計画 における取組	<p>「最高水準の生涯学習」を推進していくため、財団主催で実施する事業はもとより、京都大学、国際日本文化研究センター等の大学・研究機関をはじめ、風俗博物館、彦根城博物館等の博物館施設との連携を一層密にして、より質の高い生涯学習事業を進めていく。</p> <p>また、「平安京創生館」については、総合教育センターや学校と引き続き連携しつつ、小学校の授業での活用を推進する。</p>
当年度目標	<p>大学や研究機関等をはじめ、市の関係機関とも連携し、市民の学習ニーズに応じた事業はもとより、防災・健康・環境・人権など市民生活に必要な内容をテーマに、さらには京都市が誇る伝統・文化を次代にしっかりと引き継いでいくことなど、公的使命を担う財団として設立された趣旨に沿って、より質の高い事業を実施していく。</p> <p>また、琳派400年の節目の年にあたり、京都市の様々な取組を盛り上げ、京都市の活性化に資するよう、講演や広報誌発行等の事業で引き続き琳派を積極的に取り上げ、琳派の魅力を広く発信していく。</p> <p>平安京創生館では、総合教育センターや学校と連携し、授業で活用できるプログラムの一層の充実を図る。</p>
当年度結果 (※)	<p>生涯学習事業全体の事業参加者数は前年度に比べ増加しており、事業種別によって参加者数の増減はあるものの、市民の学習ニーズに応じた事業のほか、市民生活に必要な内容を企画するなど、質の高い事業を継続して実施。安定した参加者数につながった。</p> <p>平安京創生館では、風俗博物館などの協力による展示事業を継続して実施するほか、10周年を迎えることを契機に展示の見直し及び、授業で活用するためのプログラム例を作成し、学校連携の推進を図り、平成27年度の入館者数は7万8,360人と前年比7,487人・10.6%の増となっている。</p> <p>また、隣接する中央図書館と連携し、貸館事業において空室となった部屋を自習室として開放することで、新たな来館者を掘り起こすことができた。</p>

指標	事業参加者数（主催事業）				(単位：人)	
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—		175,000		176,000	177,000
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	174,000	—	182,000	175,000	—	188,000

<b>目標2 「豊かな市民生活の実現及び京都市の文化力向上を図る図書館事業の推進」</b>	
<b>中期経営計画 における取組</b>	市民ニーズや市民の読書スタイルの変化に対応し、より一層魅力ある図書館づくりに取り組むとともに、「第3次京都市子ども読書推進計画」に基づく学校図書館の機能充実のための運営支援に取り組んでいく。
<b>当年度目標</b>	市民のニーズや読書スタイルの変化を的確に捉えていくため、利用者アンケートを実施し、広く市民の方々に読書の魅力を発信していく取組を積極的に実施する。 また、防災・健康・環境・人権など市民生活に必要な情報を的確に発信し、公的使命を担う図書館としての役割を果たしていく。 さらに、第3次京都市子ども読書活動推進計画を踏まえ、特に「読書離れへの懸念」が指摘される中学生を対象とした取組を進めるとともに、司書資格を持つ職員の専門性を生かし、小中学校の学校図書室の機能充実に向けた取組を推進する。
<b>当年度結果 (※)</b>	前年度まで春の子ども読書記念事業に特化していた読書活動推進事業を、秋の読書週間記念事業と振り分けることで、全ての年代を対象とした読書活動の推進を効果的に展開した。また不用図書の個人への譲渡（ブックリサイクル）を全館で開始し、新たな利用者を図書館へ呼び込むとともに、学校図書館運営支援員（現 学校司書）への研修に講師やアドバイザーとして参画するほか、「調べ学習のための推薦図書リスト」の作成も継続して行うなど学校図書館支援の取組を重点的に実施した。

<b>指標①</b>	図書館の入館者数 <span style="float: right;">(単位：人)</span>					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—		4, 206, 000		4, 226, 000	4, 247, 000
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	4, 175, 000	—	4, 156, 000	4, 206, 000	—	4, 261, 000

<b>指標②</b>	学校図書館支援の実施率（支援実施校数／全市立小中学校数） <span style="float: right;">(単位：%)</span>					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—		10		30	50
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	—	—	10	—	71

## (2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度			平成27年度			備考欄
	予算	見込	実績(※)	予算	見込	実績(※)	
経常収益	1,556,775	—	1,563,898	1,600,000	—	1,586,979	
経常費用	1,582,985	—	1,579,563	1,600,000	—	1,593,269	
当期経常増減額	△ 26,210	—	△15,666	0	—	△ 6,290	
当期正味財産増減額	△ 28,210	—	△15,900	0	—	△ 7,924	
資産合計	820,281	—	825,434	820,000	—	774,514	
負債合計	701,223	—	694,066	699,000	—	651,070	
正味財産	119,058	—	131,368	121,000	—	123,444	
うち累積損益額	39,058	—	51,368	41,000	—	43,444	

## 目標「人件費の抑制」

中期経営計画 における取組	<p>「生涯学習事業及び図書館事業」を財団で実施することにより、京都市が直営で行う場合に比べて人件費等の事業費を約7割に抑えてきている。</p> <p>今後さらに、正規職員の少数精鋭化を進め、専門性の高い正規職員を中心に司書資格を持つ嘱託職員等や経験豊富な退職再採用職員を積極的に活用しながら、一層効率性を高めていく。</p>
当年度目標	<p>今年度も引き続き正規職員の採用試験は実施せず、嘱託職員、退職再雇用職員の積極的・効果的活用を図る。</p>
当年度結果 (※)	<p>嘱託職員や退職再採用職員の効率的な配置に努めるとともに、同時に全職員の資質向上を図るため、司書研修を含めた幅広い分野での研修に参加、または実施し、財団全体の組織力向上を図った。</p>

指標	臨時職員の活用比率					(単位:%)	
中期経営計画	平成26年度			平成27年度		平成28年度	平成29年度
	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	
	—	—	—	35	—	40	45
実績	—	—	—	35	—	—	—

## (3)組織に関する取組

目標「より効率性を高めるための組織改正」及び「派遣職員の縮減」	
中期経営計画 における取組	生涯学習総合センター・図書館の各館で実施する業務をできる限り精選・一元化し、より効率的な事業実施を図るための組織の抜本的改革を行う。 また、京都市派遣職員の計画的な縮減を実行していく。 平成25年度の派遣職員数36人を5年計画で半減させる。 さらに、30年度以降も派遣職員の縮減に取り組んでいく。
当年度目標	全図書館の統括機能を担う中央図書館等4中央館の業務を点検し、業務の精選・一元化を図るなど、より充実した生涯学習事業・図書館事業を推進するための組織改革を行う。
当年度結果 (※)	財団所属全体を統括した運営体制を構築するとともに、会議の見直しを行い、より充実した事業推進のための、関連会議を設置するなどの組織改革を行った。 同時に派遣職員の計画的な縮減を進めている。

指標	京都市からの派遣職員数				(単位：人)	
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—		26		21	18
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	31	—	31	26	—	24

## (4)その他の取組

## 目標「より良い運営方法の検討」

中期経営計画 における取組	財団による「生涯学習事業及び図書館事業」の実施により、これまで公共性と専門性の高い取組を実現するとともに、効率性という点でも大きな成果を上げてきている。今後もより良い運営及び事業実施を目指し、指定管理者制度の活用も視野に入れつつ検討を進めていく。
当年度目標	現行体制の下で、公共性と専門性の高い事業のより一層の効率的実施に取り組みつつ、継続してより良い運営方法についても検討を進める。
当年度結果 (※)	定期的に所管局との会議を設定し、財団事業の活性化や、組織力の強化等の事案の協議とともに、より良い運営方法についても、随時検討を行った。

指標	—								(単位：)	
	平成26年度			平成27年度			平成28年度	平成29年度		
中期経営計画	—			—			—	—		
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—			
	—	—	—	—	—	—				